

地酒の誇り

清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

先月の日経研月報に、ひろぎん経済研究所から興味深いレポート「広島酒」が紹介された。かように、豊かな水、質の高い米、固有の風土をベースに“酒”は、日本各地の顔になる。

とりわけ、日本酒は、米を発酵させて造る、言わずと知れた日本の伝統的な酒である。その昔は、“どぶろく”という、農家でとれた米を使ったオリジナルが各家でつくられていた。江戸時代になって酒の製造が規制され税がかかるようになってから、各地で地元有志が家業として酒造りを行うようになる。

酒造りの名人は“杜氏”と呼ばれ、高度な技術を有する。一麴、二もと、三造りと言われるように、まず、お米のでんぷんを糖分に変える麴（麴菌と蒸米による）を造り、次に、酵母を大量に培養した、“もと”と呼ばれる酒母（酵母と麴と蒸米と水による）を造り、麴と酒母と蒸米と水を加えて並行複発酵させる。原料やその扱い方の違いで、アルコール度数や香りやコクやキレなどが変わり、蔵元独自の味を競っている。

全国酒造組合に加盟する清酒の蔵元は全国に約1,600もある。単純には比べられないが、焼酎（単式蒸留）の製造元が約270であるのと比べると、その数はたいへん多い。さらに、日本各地に、地元の銘柄があり、日本酒が地域の食文化であり、大事な地場産業であることを感じさせる。

日本酒王国と言え、米どころ新潟県。全国に流通していないが、地元で愛され続けている蔵元がたくさんある。新潟県には94の日本酒の蔵元があり、全30市町村のうち21市町村で蔵元が存在している（地図参照）。地元の商店街やスーパーの酒売場に行くと、全国ブランドの商品を押しつけがかりに、

地元銘柄の、しかも一升瓶がずらりと並ぶ。

新潟県では2004年に、新潟県酒造組合の主催で、蔵元が一斉に集まる「にいがた酒の陣」が新潟市の朱鷺メッセで始まった。蔵元の経営者は、欧州のワイナリーとは異なり、団体でのセールス活動を好まないからか、これまでにはなかった取り組みである。

2千円を払うと試飲定期券代わりに「おちょこ」がもらえる。3月の2日間にわたり、500銘柄をこえる地酒を、蔵元の自慢話や苦労話に耳を傾けながら、心ゆくまで楽しむことができる。第一回の入場者数は5万人であった。年々話題を呼び、昨年の第七回には8万7千人を集めた。県内はもちろんのこと、わざわざ新幹線や飛行機でやって来るリピーターも多くなった。

「味わい」とは、善し悪しで決められるものではない。辛い甘い、しっかりさっぱり、お燗お冷など人の好みによって品質は無数にある。気分や体調でも変わり、様々で巾があるのが「味わい」というもの。「にいがた酒の陣」の会場では、いろいろな楽しみ方をしている人々の笑顔があふれる。そこには、味わいをつくる高度な技と、味わいを感じる人と風土がある。“日本酒は文化”といわれる所以ではないだろうか。

南魚沼市塩沢で「鶴齢」をつくる青木酒造の青木貴史社長は、「コシヒカリの里・塩沢、その中でも良い田んぼで、新潟生まれの新酒米である越淡麗こしたんれいを使った酒をつくっています。地元で飲む酒はまた格別です。ぜひ、足をお運び下さい」と、静かに語ってくれた。

地酒の誇りを味わいながら、地域に未来がひろがっていく。



にいがた酒の陣

代表銘柄 (蔵元)



新潟市

- 花越路 (村祐酒造)
- 今代司 (今代司酒造)
- 越の華 (越の華酒造)
- 越乃寒梅 (石本酒造)
- 越の関 (塩川酒造)
- 鶴の友 (樋木酒造)
- 越路吹雪 (高野酒造)
- 伝衛門 (越後伝衛門)
- 越乃梅里 (小黒酒造)
- 越乃八豊 (越後酒造場)
- 宝山 (宝山酒造)
- 峰乃白梅 (福井酒造)
- 越後鶴亀 (上原酒造)
- 笹祝 (笹祝酒造)
- 雪乃幻 (朝妻酒造)

佐渡市

- 真野鶴 (尾畑酒造)
- 真稜 (逸見酒造)
- 天領盃 (天領盃酒造)
- 北雪 (北雪酒造)
- 金鶴 (加藤酒造店)

新発田市

- 王紋 (市島酒造)
- 菊水 (菊水酒造)
- ふじの井 (ふじの井酒造)
- 初花 (金升酒造)

村上市

- 大洋盛 (大洋酒造)
- 張鶴 (宮尾酒造)

阿賀野市

- 越後桜 (越後桜酒造)
- 越乃あじわい (越後つかの酒造)
- 白龍 (白龍酒造)

阿賀町

- 麒麟山 (麒麟山酒造)
- ほまれ麒麟 (下越酒造)

柏崎市

- 越の誉 (原酒造)
- 越乃男山 (阿部酒造)
- 杉の露 (林酒造場)
- 姫の井 (石塚酒造)

弥彦村

- こしのはくせつ (弥彦酒造)

糸魚川市

- 謙信 (池田屋酒造)
- 雪鶴 (田原酒造)
- 加賀の井 (加賀の井酒造)
- 根知男山 (渡辺酒造店)
- 月不見の池 (猪又酒造)

五泉市

- 越乃鹿六 (近藤酒造)
- 越後杜氏 (金鶏盃酒造)

加茂市

- 加茂錦 (加茂錦酒造)
- 萬寿鏡 (マスカガミ)
- 越乃雪椿 (雪椿酒造)

上越市

- スキー正宗 (武蔵野酒造)
- 妙高山 (妙高酒造)
- 谷乃井 (谷乃井酒造)
- 雪中梅 (丸山酒造場)
- 国の華 (野崎酒造場)
- かたふね (竹田酒造店)
- 錦盛 (佐藤酒造店)
- 越後自慢 (小山酒造店)
- 越路乃紅梅 (頸城酒造)
- 越後の蔵元 吟田川 (代々菊醸造)
- 清正 (加藤酒造)
- 越の若竹 (上越酒造)
- 越の白鳥 (新潟第一酒造)
- よしかわ杜氏 (よしかわ杜氏の郷)

妙高市

- 君の井 (君の井酒造)
- 千代の光 (千代の光酒造)
- 鮎正宗 (鮎正宗酒造)

津南町

- 苗場山 (滝沢酒造)
- 霧の塔 (津南醸造)

十日町市

- 松乃井 (松乃井酒造場)
- 天神囃子 (魚沼酒造)

小千谷市

- 長者盛 (新潟名醸)
- 越の初梅 (高の井酒造)

魚沼市

- 緑川酒造 (緑川)
- 玉風味 (玉川酒造)

南魚沼市

- 八海山 (八海醸造)
- 鶴齢 (青木酒造)
- 高千代 (高千代酒造)

湯沢町

- 上善如水 (白瀧酒造)

三条市

- 越後五十嵐川 (福顔酒造)

長岡市

- 良寛 (美の川酒造)
- 越乃柏露 (柏露酒造)
- 長陵 (高橋酒造)
- 吉乃川 (吉乃川)
- 越後雪紅梅 (長谷川酒造)
- お福正宗 (お福酒造)
- 舞鶴 (恩田酒造)
- 越の鶴 (越後醸)
- 越の景虎 (諸橋酒造)
- 住乃井 (住乃井酒造)
- 越乃白雁 (中川酒造)
- 想天坊 (河忠酒造)
- 群亀 (関原酒造)
- 米百俵 (栃倉酒造)
- 朝日山・久保田 (朝日酒造)
- 清泉 (久須美酒造)
- 和楽五尊 (池浦酒造)
- 越後の米焼酎こしひかり (美峰酒類 新潟支社)

*新潟県酒造組合に加盟しているもの (2011年1月現在)。米焼酎1社を含む

*財団法人日本経済研究所にて作成

*当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページにて拡大してご覧になれます